

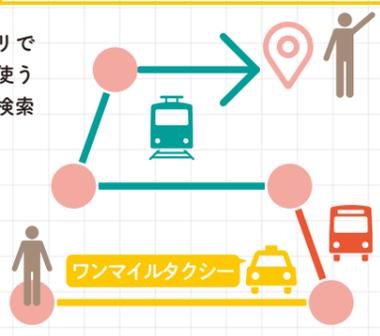


マースとは、鉄道やバス、タクシーなど、複数の交通手段やサービスを一括で提供するもの。スマートフォンなどのアプリなどで出発地から目的地までを検索すると、複数の交通手段を使った最適なルートが提示され、予約や決済までできるという便利なものです。あまり聞き慣れない言葉ですが、次世代移動サービスとして世界中で急速に拡大しています。

このマース環境が構築されることで公共交通の利用がより便利に。併せて、公共交通で商業施設を訪れるなどの施設のクーポン券が発券されるなど、他分野と組み合わせられた新しいサービスも利用できるようになります。

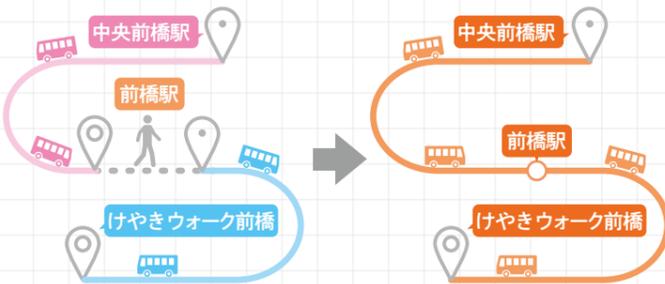
ワンマイルタクシー

電話予約に加えて、アプリでの予約も可能。アプリを使うことで、予約や目的地の検索が簡単にできます。



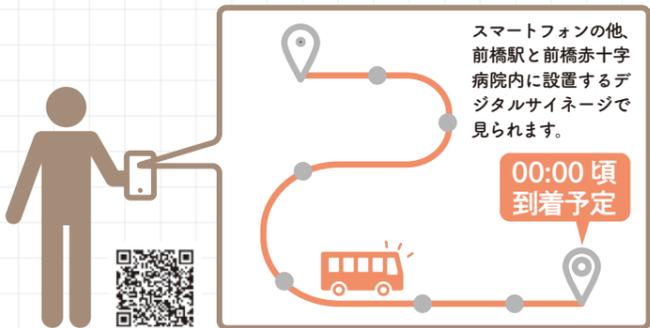
このマースに付随して、1月頃から芳賀地区でのワンマイルタクシーの実証実験を実施します。バス停周辺にタクシーの乗り換えポイントを設置。自宅とバス停の間や、バスを降りてから対象エリア内の目的地までを、短距離運行のタクシーで移動できるものです。バスとタクシーを連携することで、相互の利便性向上を目指し、移動に不便を感じている人を支えます。

シャトルバスの延伸



各区間の運賃は大人100円、中央前橋駅からけやきウォーク前橋は大人150円。土日曜・祝日、30分に1本運行します。

バスロケーションシステム



スマートフォンの他、前橋駅と前橋赤十字病院内に設置するデジタルサイネージで見られます。

00:00頃 到着予定

他にもさまざまな取り組みが始まります。一つはシャトルバスの延伸。11月30日から土日曜・祝日限定で、中央前橋駅からけやきウォーク前橋（文京町二丁目）まで、乗り換えせずに行けるようになりました。

もう一つはバスロケーションシステム。スマートフォンなどで路線バスの現在位置や到着時間が把握できるようになります。12月2日(月)から3月下旬まで県の事業として実施。

群馬中央バス、日本中央バス、群馬バスが前橋赤十字病院への路線で、永井運輸がJR前橋駅や下川団地を結ぶ路線で、このシステムの実験を行います。

ここで紹介した以外にも、多岐にわたる取り組みを実施。公共交通をより便利なものにしていくとともに、車社会からの脱却で車による交通事故が起きない環境につなげていきます。

移動手段確保のための新たな挑戦

誰もが安心して外出できるまちに

公共交通をより便利にするため、今まで取り組んできたさまざまな事業。これらをより効果的なものにするため、新しい取り組みが始まります。その名も「スマートモビリティチャレンジ」。新たな移動手段の導入を目指し、実証実験に挑戦する地域などを、経済産業省や国土交通省が支援するものです。両省から支援を受ける全国で4団体のうちの1つに、本市が選定されました。

スマートモビリティチャレンジとして目的地までの手段とサービスを一体化する取り組みが、MaaS（マース）環境の構築です。

目標：快適に移動できる交通ネットワークの構築

利便性を高めるための取り組み



利用者 一つのサービスとして提供（検索・予約・決済）

